

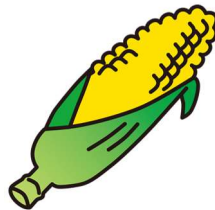
# ベストマッチ<sup>®</sup> 麦用828

## 28-12-8

ベストマッチ<sup>®</sup> 麦用828 は、化成肥料と被覆肥料を組み合わせ、元肥として一回施用するだけで、栽培終了まで麦の生育に合わせた肥効となるように設計されています。

N	窒素（化成）	1.1 kg
	窒素（被覆）	4.5 kg
P	りん酸（化成）	2.4 kg
K	加里（化成）	1.6 kg

（1袋20kgあたり）

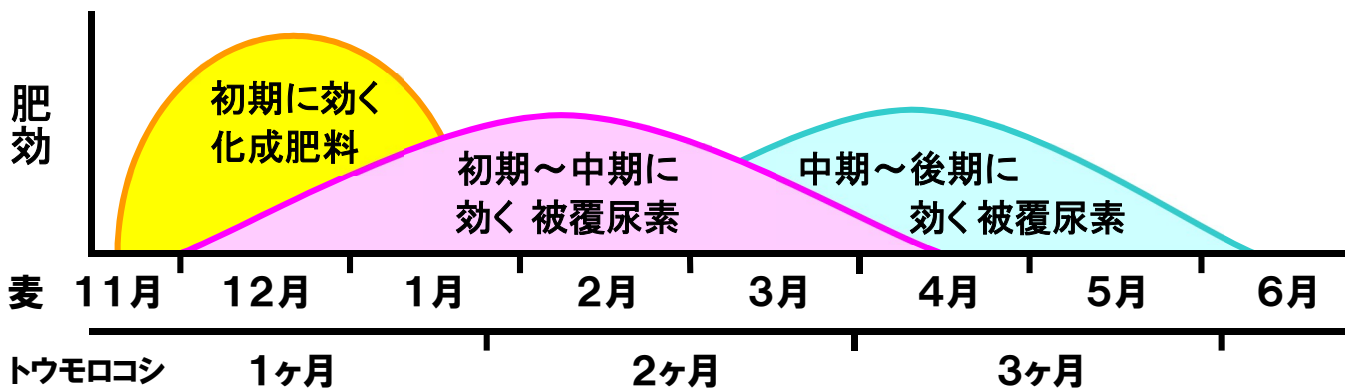


### 特長

#### 麦・トウモロコシに好適な肥効を実現

① 11月頃に播種する麦用として ② 春蒔きのトウモロコシ用として、速効性化成肥料と2種類の被覆尿素をバランス良く配合し、元肥として一回施用するだけの被覆配合肥料です。初期～中期には化成肥料および低温期でも溶出するタイプの被覆尿素が、中期～後期には慣行の追肥に相当する被覆尿素が効くため、追肥なしで収穫期まで好適な肥効が持続します。

#### ベストマッチ麦用828の肥効イメージ（麦11月中旬・トウモロコシ春施肥の場合）



### 施用量・施用方法

作物	作型	施用量(10aあたり)		施用方法
		現物	窒素量	
麦	秋播種	30～40kg	8.4～11.2kg	施用量は左記を参考に、慣行の総窒素量に合わせて、地力により増減してください。土壌改良材を通常通り施用した後、元肥施用時に全量を全層混和、または側条施用してください。
トウモロコシ	ハウス・トンネル	120～140kg	33.6～39.2kg	
	露地	100～120kg	28.0～33.6kg	